

現代の世界と日本の歩み

(Contemporary History of the World)

担当教員名: 准教授 鈴木 栄樹

【概要】

2001年9月11日のアメリカでの同時多発テロ事件やその後のアフガニスタン・イラクでの戦争、さらに北朝鮮・イランの核開発など、昨今の世界情勢はきわめて不安定化している。また、国内では、「憲法改正」に向けた動きも現実化しつつある。こうした問題をとってみても、これからの日本と世界はどのようになっていくのだろうか、ということを考えずにはいられない。現代の日本に住む私たちには様々な映像が目につり、大量の情報が耳にはいつてくる。しかし、感性的な判断、事実にもとづかない憶測は、現実に対する認識を大きく誤らせ、ひいては人々の相互理解を妨げるものである。講義では、主として第二次世界大戦後の日本と世界の歴史を学び、今後の日本の行く末について考えるための知的素材を提供したい。

【授業の一般目標】

歴史を学ぶことで「今」という時代を相対化し、「自分」という人間、「日本」という国を客観的にとらえる視点を獲得し、国際化時代に通用する自分なりの価値観をつくりあげてもらいたい。

【成績評価方法・基準】 定期試験の成績を基本として、さらに小テストなどの平常点を加味して評価する予定しているが、受講者数によって多少の変更もありうる。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

下記のウェブ・サイト上で授業に関する参考情報を公開している(随時更新)。また、質問等については、第1回の授業で知らせる。

<http://www.kyoto-phu.ac.jp/lab/kyouyou/eijuszk/index.html>